

投資事業評価調書（継続：再々評価）

部課室名	河川整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	河川整備課長 佐々木良作 (都市河川係長 糟谷昌俊)	内線	4408 (4417)
------	-------	---------------------	-------------------------------	----	----------------

事業種目	河川	事業採択年度	S43		現計画	再評価時点
事業名	高潮対策事業 (二)明石川水系明石川	着工年度	S43	総事業費	126億円	126億円
		再評価年度	H10	内用地補償費	4.4億円	4.4億円
事業区間	明石市船上町～北王子町			完成予定年度	H24	-
所在地	明石市			進捗率 (内用補進捗率)	68%(100%)	62%(100%)
事業の目的				事業内容		
<p>播磨灘沿岸では、昭和39年9月台風20号、昭和40年9月台風23号で高潮による浸水被害に見舞われ、当該河川においては、昭和36年（浸水面積33ha、浸水家屋440戸）等、過去から大規模な浸水被害に見舞われてきた。</p> <p>このため、当該地域の浸水被害を防止するため、高潮被害を防御するとともに、洪水に対する治水安全度1/30を目標に改修を行い、地域住民の安全・安心な生活環境を確保するものである。</p>				<p>計画流量 $Q = 1,000\text{m}^3/\text{s}$ (治水安全度1/30：明石大橋)</p> <p>実施内容 $L = 1,708\text{m}$ $W = 75\text{m}$ 築堤、掘削、護岸、鉄道橋1橋、道路橋3橋等</p>		
進捗状況	<p>昭和43年度に着手し、これまでに、防潮堤、護岸を完了したことにより、高潮に対する安全性は大幅に向上している。</p> <p>再評価時点（H10）から現在までに、（国）明石大橋架替を完了させ、（市）嘉永橋架替に着手しており、今後も事業の重点化と効率的な事業執行に努め、平成24年度に事業を完了させる予定である。</p> <p>また、河川整備計画を現在検討作業中である。</p>					
評価視点	評価結果の説明					
(1)必要性	<ul style="list-style-type: none"> 明石市中心市街地、国道2号、公共施設（学校）等を浸水被害から守るため、防潮堤、築堤、護岸、横断構造物の改築等の河川改修工事を実施しており、残区間の治水安全度を早期に向上させるため、継続的な整備を実施する必要がある。 					
(2)有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> $B / C = 8.8$ 道路管理者と連携し、橋梁架替を進めている。 橋梁取付道路の用地交渉を積極的に市が行い、事業進捗に努めている。 					
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> 低水路護岸には自然石を使用するなど生態系に配慮した整備を行う。 高水敷を市事業と提携して散策路として整備し、市民に開放している。 					
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> 残事業については、道路橋、鉄道橋を残し治水安全度が低いことから、明石市中心市街地を浸水被害から防御する当該事業の優先性は高い。 					
再々評価の結果	事業継続	左の理由	上記理由により、事業継続が妥当である。			